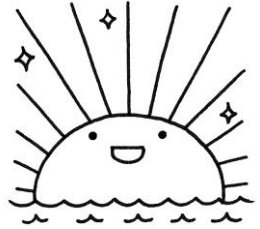


新しい年の始まりです。
今年も、笑顔いっぱいの1年になりますように・・・！



叱り過ぎ・・悩まないで！ いつでも挽回可能ですよ

今年こそは、笑顔で穏やかに子どもに接しようと誓ったのに、お正月早々、大声で子どもを叱ってしまいました・・・Ｙくんのお母さんはちょっと反省しつつ、こんなにひどく叱りつけて、将来ぐれたりしないか、とても不安な気持ちに見舞われたといいます。



教育社会学の広田照幸教授によると、事件報道された子どもの成育歴を見た場合、厳しく躰けられたこと自体を取りあげられることが多いものの、実際には因果関係は、認められなかったということです。

「子育てに、失敗と反省はつきもの。愛情をもって接していけば、いつでも挽回できるものです。」との心強い一言も！

叱り方ひとつをとってみても、この情報の波の中で、若いお母さんたちが自分の信念を貫いて子育てするのは、とても大変なことだと思います。

新聞のコラム欄から心に残ったこんな一文を見つけました。併せてご紹介しましょう。

主婦Aさんはある日、悪いことをした長男（5歳）を叱った後、「母ちゃんなんか大嫌い！」と怒鳴られました。一瞬、「こっちも！」と返しそうになるのを我慢して、「母ちゃんはあなたが大好き！だから嫌いでもいいよ。」と尝试してみたそうです。

息子は驚いた表情でその場を離れましたが、すぐに泣きながら戻り、「ごめんなさい。ぼくも母ちゃん大好き！」と言い、今度は「なぜ叱られたかわかった？」といった諭しに素直に耳を傾けたそうです。

今回はちょっと叱り過ぎたけど、次は・・・。子育ては長い道のり、焦らず大らかにいきましょう。子どもにも、自分自身にも。